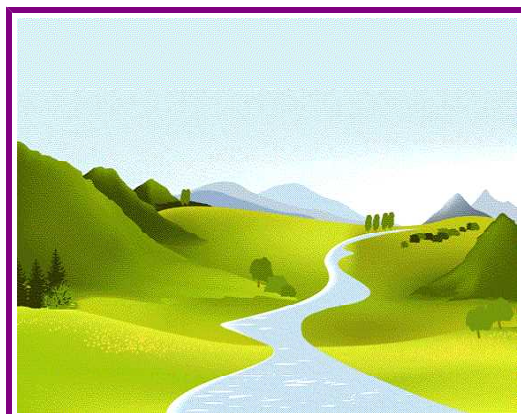


# めぐみイエス・キリスト教会

2020年8月9日(日)第二主日礼拝  
週報「通算第518号」



## 2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時~11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時~(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年8月9日 第二主日礼拝 午前10時  
司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌254「心にあるこの安きを」 p. 394

【交読文】 No.58 コリント人への手紙Ⅰ 第15章 p. 926

【賛美Ⅱ】 新聖歌428「キリストには代えられません」p. 690

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.2「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 使徒の働き3章24節～26節(2017新約p. 238上段)

【礼拝説教】 《契約の子とは？》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所「使徒の働き 3章24節～26節」

3:24 また、サムエルをはじめ、彼に続いて語った預言者たちもみな、今の時について告げ知らせました。

3:25 あなたがたは預言者たちの子であり、契約の子です。この契約は、神がアブラハムに『あなたの子孫によって、地のすべての民族は祝福を受けるようになる』と言って、あなたがたの父祖たちと結ばれたものです。

3:26 神はまず、そのしもべを立てて、あなたがたに遣わされました。その方が、あなたがた一人ひとりを悪から立ち返らせて、祝福にあずかせて下さるのです。」

### ●ポイント1. 「サムエルをはじめ、彼に続いて語った預言者～」とは？

#### ※ルカの福音書24章44節～48節「主イエス様の教え」(新約p.174上段)

24:44 そしてイエスは言われた。「私がまだあなたがたと一緒にいた頃、あなたがたに話した言葉はこうです。私について、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません。」

24:45 それからイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、

24:46 こう言われた。「次のように書いてあります。『キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、

24:47 その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』エルサレムから開始して、

24:48 あなたがたは、これらのことの証人となります。」

### ●ポイント2. 「契約の子」とは？

#### ※創世記17章1節～14節「アブラハムの契約とは？」(旧約p.23下段左側)

### ●ポイント3. 「祝福」とは？

#### ※申命記28章1節～2節「モーセを通しての神の言葉」(旧約p.362下段)

28:1 もし、あなたが、あなたの神、【主】の御声に確かに聞き従い、私が今日あなたに命じる主のすべての命令を守り行うなら、あなたの神、【主】は、地のすべての国々の上にあなたを高く上げられる。

28:2 あなたが、あなたの神、【主】の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたについて行く。

#### ※マタイの福音書28章18節～20節「主イエス様の約束」(新約p.64下段)

28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「私には天においても地においても、すべての権威が与えられています。

28:19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、

28:20 私があなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。」

## ◎先週のメッセージの概要【もうひとりの預言者とは？】

《ペテロとヨハネは「ソロモンの回廊」にやって来ました。何といやされた青年は、二人の後をぴったり付いて来てしまったのです。その有様を見ていたユダヤ人たちは、二人が集まっていた所にやって来たのです。

するとペテロは聖霊に満たされて、伝道メッセージを語り始めました。「さて兄弟たち。あなたがたが、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにあのような行いをしたことを、私は知っています。しかし神は、すべての預言者たちの口を通してあらかじめ告げておられたこと、すなわち、キリストの受難をこのように実現されました。」

ここで、ペテロが言う「キリストの受難」とは、おもにイザヤ書53章のみ言葉を指し、「悲しみのメシヤ」預言と言われています。この預言は、主イエス様の「十字架」によって成就しました。おそらく、この時点から、五十数日前の出来事になります。まだ人々の記憶に新しい事なのです。「ですから、悔い改めて神に立ち返りなさい。」

悔い改めがまず先決です。悔い改める為には、自分が罪人である事を認めなければなりません。そして神の御前にへりくだることなのです。

そして次に、ユダヤ人ならば、誰もが知る民数記に書かれた「もうひとりの預言者」の事を、ペテロは取り上げて解説しています。この人物こそが、旧約聖書に約束された「メシヤ」なのです。この人物が何時出現するのか、ユダヤ人は長い間待ち続けました。すでに来られたにも関わらずに。主イエス・キリストこそが、モーセを通して、ユダヤ人に神様が約束されたメシヤであられることを、ペテロは確信を持って力強く証しています。

このメッセージによって、さらに多くのユダヤ人が救いに導かれます。美しの門において、何年間も物乞いをして来た「生まれつき歩けない青年」のいやしを通して、教会は、さらに二千人の男性の魂を勝ち取ることにあります。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、8月16日(日)教会にて行ないます。第二礼拝はありません。また、「聖書の学びと祈り会」は、毎週水曜日に各家庭にて行ないます。鈴木師は、8月10日(月)御茶ノ水朝祷会でメッセージのご用です。